

瑞穂っ子だより

瑞穂小学校新聞 第2号

平成27年5月27日(水)

～ かしこく やさしく たくましく ～

雨で一日順延になった運動会も終わり、どの学年も落ち着いて学習に臨む様子が見られるようになりました。この後も運動会で競い合った赤団・黄団・白団・青団の団長が率いる1年から6年までの縦割り班を土台として、いろいろな活動で競い合いを行います。例えば毎朝走っているランランジャンプタイムの参加率やマラソン大会の結果のほか、日常的な活動から文化的な行事まで幅広く、お互いに切磋琢磨する経験を積んでいきたいと考えています。

5月17日(日) 運動会

開会式の入場では、元気よく手を振り足を上げ、全員が力強く行進することができました。動きをそろえることで心を一つに頑張ろうという意気込みを表現しています。また、先頭に立つ団長に対し、最後列でも低学年をサポートしながら入場する6年生の頼もしい姿が見られました。



今年は鼓笛演奏を低学年が本部席前で見学することになりました。

練習の成果を発揮しようと頑張る高学年の姿を間近で見守る低学年です。いつかは自分も…という気持ちが瑞穂の伝統を創っていきます。



※ 運動会の様子は能越ケーブルネットで放送されています。(5月30日まで)

5月22日（金） 第1回 学校評議員会

「学校評議員制度」は、保護者や地域の方々の意見を幅広く聞き、学校の教育活動に生かしていくための仕組みです。本校では、年に3回の学校評議員会を開催しています。本校の教育活動全般について、児童や教職員の様子をみてもらい、率直なご意見をいただきます。

第1回の評議員会では羽咋市教育委員会より制度の説明がありました。その後、学校から教育方針についての説明を行い、ご意見をいただきました。

～ 今年度の評議員の方々 ～

細川 聰 : 越路野公民館長
中田登志夫 : 深江町会長
古永 哲也 : 鹿島路町副会長
幸正真佐美 : 主任児童委員
江場田裕美子 : P T A 母親代表

評議員の皆さんのご意見から

- ・卒業生の中学校での様子はどうか？
- ・みんなの前で話す力を重視した指導を。
- ・勉強も大切だがあいさつや集団の学びも大切に。
- ・学童2年生が1年生をお世話している姿がよい。
- ・学力調査の結果で、何をどう間違ったか具体的に伝わる説明を保護者にもしてほしい。

5月26日（火） 火災避難訓練



今年度第1回の避難訓練は、火災を想定して行いました。出火場所を飼育小屋とし、校舎への延焼を防ぐため防火扉を閉めた状態で避難することにしました。また、避難場所も富永公民館との共用駐車場という設定で行いました。

これまでになかった条件での訓練でしたが、子どもたちは落ち着いて行動することができました。職員も、状況を確認しながら避難誘導することができました。

○こどもの日 小中学生写生大会（気多大社写生大会） [5月5日(火)] の結果

最高賞	6年	江場田大希		
準最高賞	4年	上杉 望笑		
金賞	3年	折田 凌	4年 廣島 菜月	6年 坂本 空澄
銀賞	2年	江場田幸介	3年 至極 遼納	
銅賞	1年	奥本小百合	1年 崎田 悠月	
	2年	辻口 歩実	2年 松本 愛菜	3年 奥本 千琳
入選	1年	角 朋熙	2年 北山 里空	3年 石崎 陽菜
	5年	崎田 拓峰	5年 北山 大智	
	5年	濱名 美咲	5年 森 琉凧	



石川コンファレンス in 羽咋 「未来へつなぐプロジェクト～音楽のちから～」

6月27日（土）13：00～ コスモアイル羽咋

未来へつなぐメッセージ

作詞 作曲：多胡邦夫 編曲：米田浩徳

あの日ヒカリが闇に消えるのを見たんです
全て飲み込んでしまいそうな夜を見上げたら綺麗な星が
みんなも同じ空どこかで見てるかなって涙が溢れた

誰だって強くはないよ 一人きりじゃ笑えないよ
当たり前のように居てくれてありがとう
その優しさ忘れないよ その温もり忘れないよ
だからこの手とその手を繋いで

未来へのミュージック 七色のイメージ
描いていこう僕らの世界を

日本青年会議所が主催する石川コンファレンスという大会で、東日本大震災で被災された方々への応援歌を瑞穂小学校5、6年生が歌います。

このプロジェクトは、音楽を通して、震災の記憶を風化させることなく、未来への夢や希望を大切に生きていこうという願いを込めたものです。